



2022年度

(2023年3月期)

第2四半期

決算報告

NSユニテッド海運株式会社

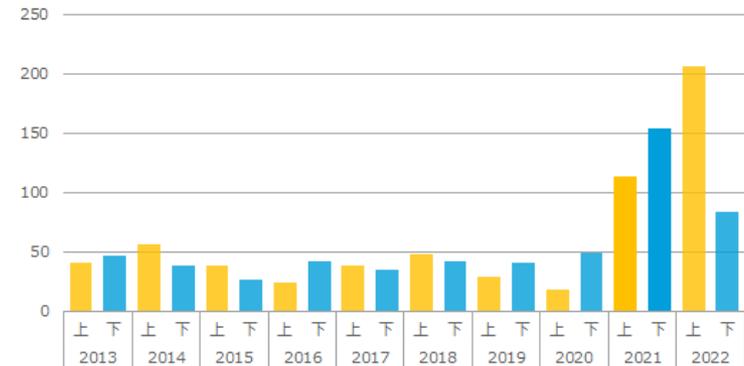
2022年10月31日

目次

1. 2022年度業績ハイライト p. 2
2. 第2四半期決算の概要 p. 3
3. 2022年度業績見通し p. 4
4. 2022年度市況見通し p. 5
5. 活動状況 ～環境保全・安全運航～ p. 6
(ご参考) 財務アウトルック p. 7

1. 2022年度業績ハイライト

半期毎営業利益（単位：億円）



【単位：億円】 (連結)	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益
上期実績	1,308	207	241	194
通期予想 (ROE)	2,170	290	300	260 (20.5%)

上期業績：想定を上回る円安進行により高収益を確保

- ・ ドライバルク市況は一時、大型船（ケーブサイズ）市況が大きく下落したものの、当社ケーブサイズバルカーの大半が中長期契約に従事していることから市況変動の影響は軽微に留まりました。一方で中小型船市況が底堅く推移したことに加え、想定を上回る円安の影響を受けて各段階利益で前年同期比大幅な増益となりました。

通期業績見通し：市況の軟化が想定されるも通期で過去最高益を見込む

- ・ 来年年明け、季節的な要因に加え世界経済の減速が海上輸送需要の下押し圧力となり市況の軟化が懸念されることから、下期の業績は上期と比較して減収減益となる見通しですが、中長期契約や市況変動に対する耐性を強化した船隊ポートフォリオに支えられ、通期では当期純利益260億円（ROE20.5%）と昨年度を上回る過去最高益を見込んでいます。

配当予想：配当性向は年間で概ね30%を目途とします

中間配当：前回発表の通り、一株当たり170円の配当とします。

期末配当：一株当たり170円、中間配当と合わせた年間配当は一株当たり340円を予想します。

2. 第2四半期決算の概要

【連結】 (単位：億円)	2021年度							2022年度			前年度 同期比
	1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	通期	1Q	2Q	上期	
売上高	428	469	897	547	515	1,062	1,959	623	685	1,308	+ 411
営業利益	47	66	113	88	66	154	267	112	95	207	+ 94
外航部門	45	62	107	83	59	142	249	113	91	204	+ 97
内航部門	2	4	6	5	7	12	18	▲ 1	4	3	▲ 3
経常利益	41	63	105	91	70	161	266	131	110	241	+ 137
親会社株主に帰属する 四半期純利益	36	52	87	71	78	149	236	105	89	194	+ 107

外航海運 ロシアに対する経済制裁によって石炭、穀物輸送が長距離化したこと、コンテナ船の運賃高騰で撒積船代替輸送が発生したこと等により中小型船を中心に海運市況は底堅く推移しました。また、大型LPGタンカーも健全な需給のもと総じて堅調な動きとなりました。加えて円安の加速が追い風となり、営業利益は前年同期比約97億円の大幅な増益となりました。

内航海運 国内鉄鋼関連輸送は自動車を中心とする製造業の生産停滞により鉄鋼原料輸送が伸び悩みました。タンカーは季節的な需要減退により輸送量が低迷し、内航部門の営業利益は前年同期比3億円の減益となりました。

以上により、当第2四半期の連結業績は前年同期比で営業利益では約94億円の増益となりました。また為替差益を加えた経常利益は約137億円、四半期純利益では約107億円の増益となりました。

3.2022年度業績見通し

【連結】 (単位：億円)	2021年度			2022年度 (今回予想)			前期比 増減
	上期	下期	通期 (実績)	上期	下期	通期	
売上高	897	1,062	1,959	1,308	862	2,170	+211
営業利益	113	154	267	207	83	290	+23
経常利益	105	161	266	241	59	300	+34
親会社株主に帰属する 当期純利益	87	149	236	194	66	260	+24

	2021年度			2022年度		
	上期	下期	通期	上期実績	下期見通し	通期
為替	¥109.33	¥113.67	¥111.50	¥130.83	¥135.00	¥132.92
燃料油価格 (全油種平均)	\$461	\$539	\$500	\$705	\$660	\$683
市況 ケープサイズ	\$36,928	\$28,471	\$32,733	\$17,520	\$15,000	\$16,260
パナマックス	\$29,961	\$26,186	\$28,089	\$21,743	\$16,000	\$18,872
ハンディ	\$27,504	\$27,668	\$27,585	\$22,995	\$15,500	\$19,248

※ 為替は1円の円安で約3億円/下期の経常増益

燃料油価格は脱硫装置を搭載した船舶で消費する高硫黄C重油を含む全油種平均価格

4. 2022年度市況見通し

2022年度下期は、世界経済の減速が意識される中、ドライバルク輸送需要はこれまでと比べてやや軟調な展開が予測されます。船腹供給については、引き続き竣工量は抑えられる見込みですが、長期滞船の解消による船腹需給の緩和が懸念されます。

海上輸送需要見通し

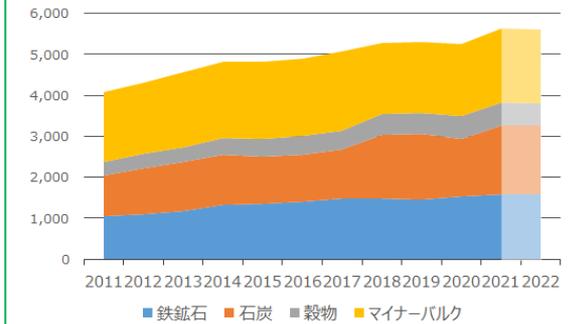
鉄鉱石：中国の鉄鋼生産に影響を与える当局のインフラ投資ならびに不動産セクターの動向に注目が集まっており、年明け以降経済政策に力点が置かれれば、鉄鋼原料輸送需要の回復、さらにはブラジル出荷ベースの増加により輸送トンマイルの伸びが期待されます。

石炭：ロシアに対する経済制裁にあたり、EU諸国はロシア産天然ガスから石炭輸入へシフトを進め、輸入ルートは北米産、南アフリカ産、アジア産と長距離化が進んでいます。一方で中国の石炭輸入が減少傾向にあり、石炭輸送量全体としては概ね横ばいでの推移が見込まれます。

穀物：ロシア・ウクライナ情勢により輸送距離の長距離化が進んでいる他、飼料用に中国が輸入を増加させる傾向にあり、底堅い輸送需要が見込まれます。

マイナーバルク：マイナーバルク輸送需要は概ね横ばいでの推移が見込まれます。

海上輸送需要推移（百万トン）

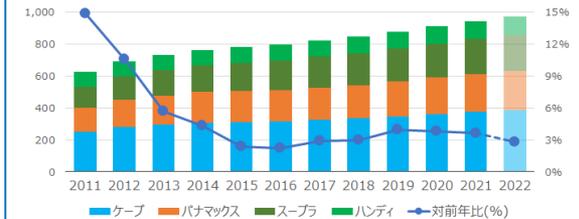


各社資料より当社調べ

ドライバルク船腹供給見通し

ドライバルクの竣工量は高船価に加えて環境規制の不透明感から引き続き低水準で推移しており、ファンダメンタルな船腹需給は引き締まったものとなっております。一方、新型コロナウイルス感染症により停滞していた港湾荷役の正常化が船腹供給の増加要因となることから、今後の市況動向には細心の注意を払う必要があります。

ドライバルク船腹量見通し（百万DWT）



各社資料より当社調べ

現時点における2022年度下期先物指標

船型	2022年度下期平均
ケープサイズ	\$10,900
パナマックス	\$15,400
ハンディ	\$14,500

10/20付 先物指標値より算出

米国の利上げ継続、中国のゼロコロナ政策など先行き不透明感が先物指標にも影響を与えており、市場における2022年度下期の市況見通しは、当社業績予想の前提をやや下回る水準となっております。

船型別市況推移（\$/day）

出典：Baltic Exchange



5.活動状況 ～環境保全・安全運航～

【環境保全】国内初 外航船向けにバイオディーゼル燃料を供給

本年9月、住友商事株式会社、および燃料供給者である豊田通商ペトロリアム社の協力のもと、名古屋港にて日本製鉄株式会社のレール運搬専用船PACIFIC SPIKEへバイオディーゼル燃料を供給いたしました。国内での外航船向けの補油としては初めてのケースとなります。本船は北米に向かう途中の太平洋上で同バイオディーゼル燃料による試験航行を実施する予定で、当社運航船では2022年3月に試験航行を実施したNSU BRILLIANCEに続き、第2弾となります。

今回採用したバイオディーゼル燃料は国内で収集された廃食用油を原料として精製されており、バイオマスおよびバイオエネルギーの認証制度として欧州で広く採用されているInternational Sustainability and Carbon Certification (ISCC) を取得しており、原料のトレーサビリティを確保しています。



M.V.PACIFIC SPIKE

【安全運航】「リベリア船籍PSC優秀実績船」に選出

当社グループが所有・管理する船舶が、リベリア船籍登録プログラムを運営するLISCAR,LLC(LISCR)による「PSC優秀実績船」に選出されました。同賞は2021年からLISCRが始めた表彰制度で過去2年間のPSC拘留率0%の船舶に与えられるものです。当社は安全運航維持の一環として各国で実施されるPSC対策を継続してまいりましたが、今回その取り組みが認められた結果となりました。今後も当社グループ丸となって安全運航に努めるとともに、運航技術のさらなる向上のため、日々研鑽を積んでまいります。

日本格付研究所より信用格付（A-）を取得

2022年10月当社は日本格付研究所（JCR）より信用格付を新規に取得いたしました。長期発行体格付けは「シングルAマイナス」、格付けの見通しは「安定的」。第三者機関の評価を受けることで、取引先を含むステークホルダーの皆さまに向け、より透明性の高い情報を提供できるものと考えます。（日本格付研究所H/P：<https://www.jcr.co.jp/ratinglist/corp/9110>）

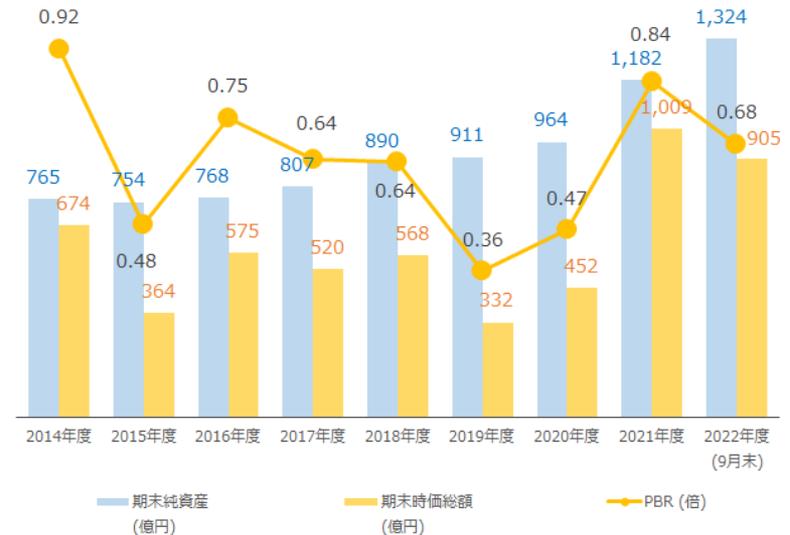
(ご参考) 財務アウトック

当期純利益と期中株価の推移



注) 当期純利益は予測値
株価は4-9月実績

期末純資産・時価総額

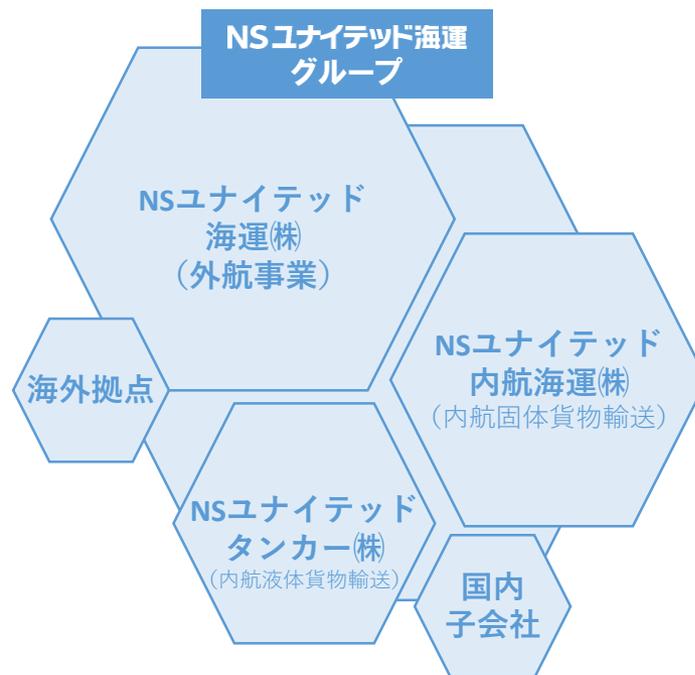


NSユニテッド海運株式会社

NSユニテッド海運グループは、
誠実で良質な海上輸送サービスの提供を通じて
社会の発展に貢献します。

(本資料に関する注意)

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因により異なる可能性があります。



当社ウェブサイト：<https://www.nsuship.co.jp>

本資料についてのお問い合わせ先：03-6895-6411